

やる気いっぱい、笑顔いっぱい、体力UP ～運動に気持ちを向けていく取組～

福山市立霞小学校
児童生徒数 254人
TEL 084-923-0643

実践内容

実施目的

本校の児童の課題として、
① 運動量が少ないこと
② 友達とかかわり合いながら運動を楽しんでいないことが挙げられる。
この課題を解決していくために、児童が楽しみながら身体感覚を育成できる場を設定したり、運動を「する」ばかりではなく、「みる・支える」といった運動への多様なかわり方を体験させたりすることが、児童の運動意欲の向上につながると考えた。そこで、本校では、運動への多様なかわり方を体験させることを通して、児童の運動意欲の向上をねらいとした取組に重点を置いた。

実施内容

- 1 体育科の授業改善**
 - 友達とかかわり合いを通して、技能が向上したこと、運動のポイントが分かったことを実感できる授業づくりを行った。
 - 主運動につながるドリル運動を各単元に位置付け、楽しみながら身体感覚を育成できるようにした。
- 2 外遊びデー**
 - 毎週水曜日の大休憩を「外遊びデー」と設定し、全校児童が外遊びを行った。
- 3 オリンピック・パラリンピック教育**
 - 「オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業 平成29年度広島県コンソーシアム推進校」の指定を受け、オリンピック・パラリンピック教育を実施し、体育科の授業のみならず、多様な視点でオリンピック・パラリンピックへ全校児童がかかわることができるようにした。

実施上で工夫したこと

- 1 体育科の授業改善**
 - (1) 試行と思考の往還(MTM型)**
「試しの運動(M)→思考場面(T)→確かめの運動(M)」の授業展開により、児童に動きのポイントなどを捉えさせた。
試しの運動(M)と確かめの運動(M)では動きの質的向上を目指し、映像を提示したり、手本となる児童の動きを見せたりして、動きのポイントなどが児童に分かりやすい授業を行った。
 - (2) 教材・教具の開発**
児童が主体的に取り組むことができるための教材・教具を開発し、活用した。
 - (3) ドリル運動**
主運動につながる動きを取り入れ、運動量を確保しながら身体感覚を育成した。
- 2 外遊びデー**
 - (1) 体育委員会の児童が外遊びを企画**
体育委員会が外遊びを企画し、投力を高めるストラックアウト等、児童が日常的に運動に親しめるような道具や運動ブースを設置することで、外遊びをする児童を増やした。
 - (2) 全校一斉鬼ごっこ**
体育委員会の児童や教師が鬼となり全校児童で鬼ごっこを行い、楽しみながら運動させた。
- 3 オリンピック・パラリンピック教育の学校教育活動全体を通した取組**
様々な教科等、領域の学習や校内掲示を通して、スポーツ、環境、国際理解、健康、障害者理解等、多様な視点でオリンピック・パラリンピック教育に取り組むことで、児童の運動への関心を高めた。

主な成果

- 体育科の授業改善により、児童の運動意欲の向上につながる授業づくりを充実させることができた。また、「みる・支える」といった運動への多様なかわり方ができるようになった。
※「体育科において友達とかかわり合って学ぶことができることが増えた」と感じている児童 95.2%(アンケート)
- 外遊びデーの取組を通して、児童の外遊びをすることにに対する意欲が高まり、楽しみながら運動に親しむことができる児童が増えた。
- オリンピック・パラリンピック教育について学校教育活動全体で取り組んだことで、児童の運動への関心が高まるとともに、オリンピック・パラリンピックを多様な視点で捉えることができるようになった。



体育科の授業改善(MTM型)

試しの運動→集団思考→確かめの運動の授業展開



主運動につながるドリル運動

各単元に位置付け、楽しみながら身体感覚を育成



外遊びデー「全校一斉鬼ごっこ」

楽しみながら全校一斉に外遊び



ねらいを達成するための教材・教具の開発

児童が主体的に取り組むことができる教材・教具



外遊びデー「運動ブース」

日常的に運動に親しめるような場を設定



オリンピック・パラリンピック教育

校内掲示や授業など様々な場面でオリンピック・パラリンピック教育

広島県全体の総合評価A B割合(%)との比較

